

「戦争と医の倫理」の検証を進める会への ご賛同・ご協力のお願い

私たちは、遺伝子レベルの域にまで達した医学・医療の今後の発展には、人間の尊厳や人権を基本とすることが何より大切と考えています。そのためには、医学・医療のこれまでの歩みを真摯に振り返ることが不可欠です。特に日本の場合、日本の医学会・医師会がかつての戦争に加担したことや日本の医学者・医師が戦争中に、731部隊や戦地で行った「人体実験」「生体解剖」等の非人道的行為について、自ら真摯な検証を行い、その教訓を生かすことは欠かせません。

しかし、当時の資料の焼却、散逸と残された資料の「未公開」「隠蔽」のために、その全貌は未だに明らかではなく、検証は容易ではありません。731部隊に関しては、当時日本を占領したGHQ（連合軍総司令部）は、関係した多くの医学者・医師に対する訊問をしましたが、研究結果を得るために戦争犯罪を不問とする取引をしました。

このような経緯のなかで、日本の医学界では「真相は不明」「解決済み」あるいは「タブー」とされ、史実に基づく検証が殆ど行われないうまま今日に至っています。このことは、ドイツの医師会がナチズムに関与した医師の責任と教訓を公にしたこととは対照的です。

「過去に目を閉ざすものは、結局のところ現在にも盲目となる」という歴史の教訓に学び、前述の非人道的行為等の検証を進めることは、医学・医療の発展ために不可欠ではないでしょうか。

戦後60年以上が経過し、関係する生存者の証言や当時の資料収集も困難になる中で、検証を進めることが急がれます。史実に基づく客観的な検証のためには、医療関係者だけではなく、歴史や生命倫理の研究者、法律家、当時の被害者等との協力も必要です。また、戦争への加担の歴史を検証することは、国民の各層で行われるべきですが、医学者・医療人の姿勢が人命に直結するだけに、医学界・医療界が自ら進んで検証を行い、それを国民に発信することが大切です。

以上の趣意の活動を進めるために、本会を2009年9月27日に設立しました。何とぞ趣旨をご理解頂き、本会へのご賛同・ご協力を心からお願いいたします。

「戦争と医の倫理」の検証を進める会

「戦争と医の倫理」の検証を進める会 行
(FAX送信先03-3375-1862)

賛 同 書

私は、『戦争と医の倫理』の検証を進める会」のよびかけに賛同します。

年 月 日

ふりがな
名 前 ()

<連絡先について>

住所 (〒 -)

電話番号

FAX番号

E-mail

<該当に○印、ご記入をお願いします>

- ◇名前の公表について *同意します *控えて下さい
個人名公表の際の肩書 ()
- ◇募金について *募金します *できません
- ◇賛同者を募ることについて *協力します *できません
- ◇上記の他、ご協力いただけること、ご希望がありましたら下欄にご記入ください。